

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%	○				
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 授業や家庭学習において、読解力を高める学習や漢字・語句の練習を継続してきたことで、学年別配当表に示された漢字を文章の中で正しく使う力や、目的に応じて文章と図表などを結びつけながら必要な情報を見つける力が向上しました。
- 「話すこと・聞くこと」の領域には課題が見られました。目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決めて話す活動や集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う活動等を積極的に授業に取り入れていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%					○
測 定	54.8%					○
変化と関係	57.5%					○
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 記述式の正答率は、全ての問題で全国平均を上回りました。授業において、答えや問題の解き方の説明だけにとどまらず、その解決方法を選んだ理由や解決に至るまでの自分の考え等を説明する活動を大切にしてきた成果だと考えます。
- 「変化と関係」領域では、問題を解くために必要な条件を見いだす問題や「10%増量」が増量前の何倍になっているかを問う問題において、題意を捉えられていない解答が見られましたので、問題場面の条件を整理して考えることができるよう指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- 「地球」では、全ての問題で全国平均を大きく上回りました。実験や観察で得た結果をもとに、分析・考察し、自分の考えを説明する力が向上しています。
- 「生命」では、実験器具の使い方に課題が見られました。顕微鏡を操作し適切な像にするための技能が身につけていない解答が見られましたので、像がはっきりと見えるようにするための調節ねじ等の使い方について、繰り返し指導していきます。